

第119回秘書技能検定準1級合格



合格者メッセージ

Q1. 秘書検定を受験するきっかけ、目的は？

A1. 高校は普通科だったので秘書検定の存在さえ知りませんでした。周りの友人に比べて持っている検定・資格取得数が少なく、このままでは履歴書に書ける武器が少ない！と思ったことがきっかけでした。将来は事務系の仕事に付きたいと考えていたので、何かの役に立つかもしれないと思い挑戦してみました。

Q2. 合格するために、どんな受験勉強をしましたか？受験後の感想。

A2. 筆記は、過去問を中心に勉強しました。間違えた箇所を何度も解きなおしたり、授業で使った秘書用ハンドブックで見直したりしました。試験には過去問題に似たものも出題されました。面接は、秘書学担当の先生に指導・指摘されたところを家で鏡を見ながら直しました。先生に何度も練習を見ていただくことで、きちんとした言葉遣いや立ち振る舞いが徐々に身に付いていきました。

Q3. 合格した感想と今後の抱負は？

A3. まず一番はホッとしました。今まで練習を見てくださった先生や、応援してくれた家族や友人に胸を張って報告できることに安心しました。そのあと「私は合格できた！」と嬉しさがじわじわとこみ上げてきました。心から、挑戦して良かったと実感しました。今後は身に付けたスキルを就職先企業や社会で活かせるよう、さらに秘書的センスを磨いていきたいです。

Q4. 後輩へ一言

A4. 私は入学してすぐの試験は受けずに見送ろうと思っていました。忙しいし、自信はないし、機会はまだ何度でもあると思っていたからです。しかし卒業を目前にした今、過去を振り返ってみると、いつだって「今」が一番忙しく、あっという間の2年間でした。結局「やる」か「やらない」かです。残された学生生活をどのように過ごすかは人それぞれだと思いますが、挑戦はマイナスにはならない筈です。秘書学の先生との距離も近く課外授業はお得感満載です。ぜひチャレンジしてみてください。応援しています！！

Q5. 今後の目標など

A5. 秘書検定準1級に合格はしたものの、満点合格ではありませんし、私はこれからも勉強を続けて1級にも挑戦してみたいと思っていますが、そのレベルには、机上の試験勉強だけではない秘書的物事の捉え方が理解できなければ合格には届かないと思います。まずは先生から教わった「目の前の方を大切にすること」を常に意識していきたいと考えています。



秘書検定を
含めて
全39資格
の取得を
サポート